

町田市議会議員・良識ある保守主義を目指す

吉田つとむ

納税者主権の政治・リニア新幹線



町田市議会

〒194-8520

東京都町田市

森野 2-2-22

☎042-724-2171

2 期連続トップ当選

東京と地方の財政状況

市議会の定例会に提案された議員提出議案は、「地方税財源の拡充に関する意見書」と言うものでした。私は、その提案に反対討論し、今回は大西副議長が私に共鳴してくれ賛成者が減っての可決となりました。私の所属会派（保守連合）では賛否自由と判断して、反対討論を行った次第です。次回はもっと私の方が同調者が増えるでしょう。

その内容の意見書議案の趣旨は、「国が行う地方法人特別税・地方法人特別贈与税と法人住民税の国税化を直ちに撤廃し、地方税として復元するべきだとするものです。提案目的には、分権型社会を実現するためには、地方がその責任と権限に応じた役割を果たせるように、地方税財源の拡充を図るべきだ」としています。

私が、その意見書議案に反対討論した趣旨は、「地方創生は道半ば、あるいは達成されておらず、現実主義的な対応が必要である。中央（東京）に集中する税を地方にも分かたすべきである。つまり、政府が行っている施策（国が行う地方法人特別税・地方法人特別贈与税の設定を維持し、法人住民税の国税化をして全国分散化すること）は、維持するべきである」と言う観点で述べました。

さらに、町田市が必要とするのは、東京都に財源が集まり、区部に集中して投入される施策を多摩地域、多摩南部、その中核である町田市に振り分けさせることだと主張しました。東京オリンピックの開催が決まり、その傾向が一層強まることも指摘しました。つまり、区部と市部の格差是正の実現こそが町田市政の大きな課題であると主張しました。

ごみ行政の意図が外れる

既報（317号）のように、私は議会の一般質問で、「高齢者への一律ごみ袋無料配布は、市民の公平な負担に合わない。高齢者のごみ袋無料配布の廃止を求める」と質しました。行政担当者は、「現時点では制度を見直すという予定はありません」と答えました。本会議の発言であり、石阪市長自身の意思でしょう。

ところが、公立学校の教育費予算が削減される中、市議会決算特別委員会でこのごみ問題を再度取り上げると議会の様子が変わってきました。「この不公平な事態の見直しを図りたい」とする意見を付けることに過半数が賛成しました。保守連合・まちだ市民連合・公明党が賛成、自民党・共産党が反対でした。

有料のごみ袋の売り上げ収入は、数量で 25,710,99 枚、金額で 216,646,378 円となっているが、高齢者無料配布分として数量で 525 万枚（全体数量の 20%）、金額相当で 37,812,000 円（全体金額の 17.5%）となっているとすることで、本来のごみを出した人がその量に応じて費用負担する原則が崩されており、今後 70 歳以上の高齢者が増えることで若い世代に対する過重な負担が生じ、世代間の不公平さが増大することになっている訳です。



★ 無所属で活動・市議会は保守連合 吉田つとむ発見動画チャンネル

URL <http://j-expert.jp/> ユーチューブ <http://jp.youtube.com/yoshidaben>

編集 〒194-0011 町田市成瀬が丘 1-14-12 サンホワイト E103-13 吉田つとむ（市議会議員）

町田市議会議員・良識ある保守主義を目指す

吉田つとむ

セミナー主催・インターンシップ主宰



楽しい社会体験プログラム



携帯QRコード
でブログ閲覧

研修レポート⑨ 稲葉千岬

「戦時中に作られた珍しい映像作品を見る」ということで映画愛好家の村山知さんに「望楼の決死隊」という映画をご準備頂きました。日中戦争直前の朝鮮と満州国の国境における国境警備団の苦勞と活躍を描いた映画です。映画自体白黒でなかなか出回っていないとても珍しい作品ということでした。私は上映終了後の司会を務めました。しかし思ったように進行ができず、話すことの難しさを感じました。いかに自分の思ったことと話すことのギャップを少なくしリンクさせていくか、ということが課題であるということ学びました。また、質問・意見を問いかける際には最初はなかなか出にくいので、皆の質問・意見をうまく引き出すようなムードを作っていくことも司会として必要だと感じました。それに加え、自分の意見を述べ、また内容をまとめるといった能力が必要で、私はもっとその面を鍛えなければならないということを知りました。このような機会は本当にとっても貴重なので、今回感じたことを忘れずに学生のうちにこの課題を消化しなければならないと感じました。

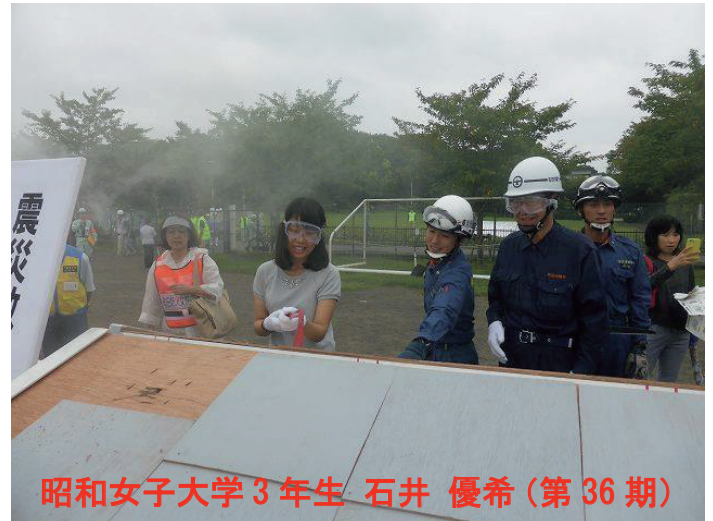


昭和女子大学 2 年生 稲葉千岬 (第 36 期)

研修レポート⑥ 石井優希

町田市の総合防災訓練に足を運びました。消防車や自衛隊の車両も数台出ており、これまで学校で参加してきたような防災訓練よりも規模が大きく、驚きました。一般の方も大勢参加していました。

会場では「防災フェア」として、煙体験や地震体験など、実際に体験ができるブースが多数設置されていました。私達も積極的に参加し、防災についての意識を高めました。



昭和女子大学 3 年生 石井 優希 (第 36 期)

全体での震災演習もあり、実際に消防車が出動する様子や、災害救助犬が逃げ遅れた方を探し出す様子などを見て、大規模な震災が起きた際の救助の流れについて学ぶことができました。

あいにくの雨天でしたが、消防団や医師会の方々の尽力により、地域の防災意識が一段と高められたように感じられました。

有事の際の段取り、設備が確認できる機会は貴重だと今回実感しました。地域によって異なる部分もあるかと思うので、今後は是非地域の防災訓練にも参加したいです。

★吉田つとむの連絡先 TEL 042-795-7361 FAX 042-795-2726

◇ どうぞ、町田市政や議会に関するご要望や、ご意見をお気軽にお寄せ下さい。

Mail : yoshidaben@gmail.com mobile: yoshidaben@docomo.ne.jp (モバイルのみ接続)